

## 平成 19 年度第 1 回京都市図書館協議会・摘録

○ 日時

平成 19 年 10 月 24 日（水） 午後 3 時～4 時 30 分

○ 場所

京都市生涯学習総合センター 3 階 会議室

○ 出席委員

[10 名中 7 名出席]

岩永ひとみ 委員

杉村 良子 委員

高橋 徹 委員

千葉 和子 委員

原田 憲一 委員

不破 哲 委員

山岡 祐子 委員[五十音順]

○ 傍聴人数 2 名

### 1 開 会

#### 委員紹介

(1) 中西中央図書館長からの挨拶

(2) 会長・副会長の選出

委員の互選により会長に原田委員，副会長に山岡委員が選出された

(3) 委員改選後初の協議会であるため，事務局から京都市図書館の概要を説明した。

### 2 報告事項

(1)平成 18 年度図書館利用状況について

入館者数 364 万人(対前年度比 0.6 減), 新規登録者数 5 万人(対前年度比 1.0%増), 貸出冊数 623 万冊(対前年度比 2.7%増), 個人貸出人数 160 万人(対前年度比 3.1%増), 登録者数 30 万 2 千人(対前年度比 0.5%減), 予約件数 71 万 5 千人 (対前年度比 56.7%増), ブックメール運搬冊数 150 万冊(対前年度比 46.6%増, 17 指定都市中, 貸出冊数は第 6 位, 市民 1 人当たりの貸出冊数は 4.25 冊で第 7 位で市民 4.9 人に 1 人が登録している。

平成 18 年度は, 過去最多の貸出冊数となり予約件数は, 前年度比 56.7%と大幅に増加した。要因としては, 祝日・夜間開館の拡大, インターネットによる蔵書検索・予約, 全館の図書について予約・取り寄せ・貸出・返却が可能, ブックメールにより読みたい図書がすぐに最寄りの図書館で借りられることなどのサービス内容が利用者に浸透し, 利用が拡大してきたことが考えられる。

特に予約件数, ブックメール運搬冊数(対前年度比 46.6%増)の大幅な増加は, 平成 18 年 1 月からのインターネット予約開始によるもので, 過去最多の貸出冊数達成の大きな要因となっている。

また, 図書館利用拡大に向けて, 具体的な数値目標を設定し, 図書館の PR やサービス向上に様々な創意工夫を図るなど, 全館挙げて取り組んだことも過去最多の貸出冊数達成につながった。

・ 平成 19 年度は, 入館者数 376 万人(対前年度比 約 12 万人, 3.3%増), 新規登録者数 5 万 2 千人(対前年度比 約 1,700 人, 3.4%増)貸出冊数 644 万冊(対前年度比約 21 万冊, 3.3%増)を目指している。

さらに 5 年後に市民は, 一人当たり貸出冊数 5 冊(全国平均を上回る), 市人口に対する登録者率 25%を達成することを長期的目標とし, 今年度はまず市民一人当たり 貸出冊数 4.37 冊(指定都市平均)に達することを目指し, 各数値目標を設定して, 図書館利用の拡大に取り組んでいる。

19 年度の利用状況は, 全体的には概ね前年度を上回り, 特に貸出冊数は, 過去最多となった前年度をさらに上回って推移しており好調である。

## (2) 夜間開館について

身近な生涯学習施設である図書館のサービス向上を図るため, 平成 12 年度から年次計画で夜間開館を進めてきたが, 平成 19 年 4 月の久世ふれあいセンター, 醍醐図書館をもって全館の夜間開館実施となった。

## (3) 子ども読書活動の推進について

- ・ 読み聞かせ講座

図書館職員及び地域や学校などで活動するボランティアや市民に読み聞かせの基本を伝えることを目的とし、平成15年度から京都市各図書館で15回実施。今年度は既に7月に北図書館で実施し、向島図書館(11月)、吉祥院図書館(2月)での実施を予定。

- ・ 子ども読書の日の取組

子ども読書の日と定められた4月23日を中心に様々な取組を行っている。

(ア) 一日中央図書館長京都市出身の芥川賞作家綿矢りさ氏をお招きして一日中央図書館長に任命し、“京都市子ども読書活動優秀実践団体(者)表彰式”“「目指せ100冊！読書マラソン」達成おめでとう表彰式”“綿矢りささんを囲んで(高校生代表によるインタビュー)”を実施。

(イ) 読書えはがき展

市内保育園、幼稚園、小・中・総合支援学校の児童・生徒から応募のあった「読書えはがき」を市立図書館で展示。(全館で1,630点)

(ウ) 本のもり

子どもが本を読むきっかけや選書の手がかりとなる年代別のブックリスト「本のもり」で紹介された本の実物展示や販売。

(エ) 各市立図書館での取組

読み聞かせや紙芝居、お楽しみ会などの記念事業を京都市子ども文庫連絡会、ボランティア、PTAなどの協力のもとに市立図書館全20館で実施した。参加人数は全館で2,434名となっている。

- ・ 大好き学校図書館推進プロジェクト

子どもの読書活動の充実や学校図書館の活性化を図るため、18年4月に発足した「大好き学校図書館推進プロジェクト」の中で「めざせ100冊！読書マラソン」運動や「学校図書館ボランティア養成講座」等に取り組んでいる。市図書館としては、「読書マラソン」において京都市図書館で本を借りた場合に「読書ノート」に「図書館シール」の貼付協力や100冊読破した児童に記念しおりを配布している。

(4) 図書館ボランティアの活動内容拡大について

図書館ボランティアは京都市各図書館で書架整理・返本を中心に活動し、現在146名、10月から新たに37名の応募があった。

平成20年4月からは活動内容を書架整理・返本を全ボランティアの基本活動に、希望者には研修を経て、図書の修理・OPAC図書(検索機)の操作説明を行ってもらう。

#### (5) コンピュータシステム更新について

平成19年10月5日、システムを更新し新しいサービスの提供を開始した。

- ・自動音声応答サービス専用電話にかけていただき、自動音声応答で貸出状況や予約状況を案内。図書館の開館時間に関わらず、夜間や休館日にも利用が可能。

- ・インターネットサービス及び自動音声応答サービスからの貸出延長の受付
- ・携帯電話からのインターネット予約の受付

「インターネット予約」が、携帯電話からも利用可能となった。(i-mode, ezweb, Yahoo!ケータイなど主要機種に対応)

- ・ホームページのリニューアル

デザインだけではなく内容も一新。外国語(英語・中国語・ハングル)や音声読み上げにも対応し、アクセシビリティに配慮した作りとなった。

#### (6) 法律上の問題等のある資料の京都市図書館での扱いについて

平成10年に、少年事件の検事調書を掲載した『文芸春秋』の記事が少年法との関係で問題となったのを機に、日本図書館協会が、図書館が提供制限を行う要件として、次の3点示している。

①頒布差止めの司法判断があり、

②そのことが図書館に通知され、

③被害者(債権者)が図書館に対して提供制限を求めた時。

以来、京都市図書館では、法律上の問題等のある資料の扱いについて、この要件を基準に検討判断してきている。今年5月出版の『僕はパパを殺すことに決めた』についても、この要件に照らして、現段階では特別な扱いはすべきでないものと判断している。

#### (7) 右京中央図書館(仮称)における利用者サービス

## ・図書館の概要

### ア 趣 旨

地下鉄東西線の延伸に伴い設置される「太秦天神川駅」周辺地区に右京区の新たな拠点となる市街地再開発施設「SANSA 右京」が建設され、その3階に京都市では最大となる3,000㎡の図書館として開館する。

### イ 基本機能(4つのコンセプト)

現在、「京都大百科事典的図書館機能」「充実したIT環境」「生涯学習の拠点づくり」「地域の活動拠点づくり」の4つのコンセプトに基づき、開設への準備を進めている。

### ウ 施設建築概要

敷地面積 8,760㎡(建築面積 6,827㎡・延べ床面積 34,677㎡)、図書館専用フロア3階・約3,000㎡、図書館のキャッチフレーズは、「3×4+1(スリーフォー・プラスワン)図書館」。面積3,000㎡・蔵書30万冊・インターネット接続パソコン30台の設置・再開発施設3階のそれぞれ「3」をとりスリーフォーとし、プラスワンは市民参加の「参」としている。

### エ 開館時期

平成20年2月末竣工、3月の施設引渡し後、右京図書館の移転・図書資料搬送、データ入力準備に最低3ヶ月を要する。引渡し日未定のため、現時点では早くても6月になる見込み。

ICタグを全冊に装着する。開館日時の最終的な決定については、施設引渡し時期が確定後、公表する予定。

### オ 蔵書計画

計画冊数 約30万冊、開館時冊数 約21万冊とし、図書の先行購入を行っている。

## カ 運営計画

開館時間については、中央図書館同様、平日：午前 10 時～午後 8 時 30 分、土・日・祝：午前 10 時～午後 5 時まで。休館日は毎週火曜日とする。

## キ 主な新しいサービス

京都市図書館としては初めてとなるサービスとして、開館（10:00）前から一部施設（交流室）を開放し新聞閲覧サービスを予定している。利用者用インターネットパソコン 30 台の設置は、他の指定都市に比べ最も多い。映像情報ネットの配信は 8 ブースを用意し、ワーナー映画約 100 タイトル・趣味教養番組約 200 タイトル、NHK が所蔵する昭和初期から 20 世紀までの京都の移り変わりを伝える映像 50～70 クリップで構成する「京都市映像ライブラリー（仮題）」をその専用ブースにて視聴。

上記 2 つのサービスにはコンピュータ管理予約システムを導入。DVD、CD の館内視聴については DVD プレーヤー(7 インチ)20 台、スタンド型 CD プレーヤーを 5 台設置し、また（IC タグ対応）の図書の自動貸出機も設置する。利用者セルフ方式で、1 回の操作で約 10 冊の貸出処理が可能となる。

## 3 協議事項

右京中央図書館の建設にあたっては、ワークショップ及び市民アンケートで集約した多くの意見・要望について実現を図ってきた。

本日の協議会においては、以下 2 点の市民サービスについて、委員の皆様から多様なご意見をお伺いしたい。

協議題 1 … 「開館（10:00）前の新聞閲覧サービスについて」

- ・（実施案） 図書館の一部施設（談話室(42 m<sup>2</sup>))を開館 1 時間前の 9:00 から開放し、新聞閲覧サービスを実施。区役所利用者他早朝から来館する利用者へのサービス向上を図りたい。

協議題 2 … 「利用者用インターネットパソコン(30 台)及び映像配信ブース(8 ブース)の利用制限について」

- ・（実施案）パソコンは1回の利用時間の上限を60分とし、15分単位で利用申込みを受付ける。1日の利用回数は1人3回に制限。映像配信ブースについても同じです。

#### 4 質疑応答・協議

##### <開館前の新聞閲覧サービスについて>

- ・ 開館時間になったらその新聞はどうするのか

（回答） 館内の新聞閲覧場所にも1部おいて置くので、交流室には終日置いておく。

- ・ 新聞の種類はどの様な新聞があるのか

（回答） 6紙～7紙を予定している

- ・ 交流室で飲食は出来るか

（回答） 飲食は出来ない。

- ・ 図書館開館後は閉じているのか

（回答） 10時には廊下側出入口を閉じ、図書館内の出入口を開放し、出入りができるようにする。

- ・ この施設は、飲食が出来る所があるのか、休憩の部屋があっても良いのではないかと思う。子どもが泣いた時は、その場所で落ち着かせることができるのでは。

（回答） 図書館内の飲食はできない。自動販売機が1F及び4Fに設置される予定であり、そこで飲んでいただく。また、赤ちゃんが泣いたりした場合などは、対面朗読や、授乳、体調が悪くなった時の小休憩等多目的に利用できるアシストルームを設置するので、そちらを利用していただくことを考えている。

##### <利用者インターネットパソコン及び映像配信ブースについて>

- ・ 図書館ではないが、他都市の案内所で市民がパソコンを利用できる例を聞いていると、外国からの留学生が長時間本国とのチャットをインターネットで利用しているので、台数はあるが、待っている人から苦情が寄せられているようだ。もう1つはアダルト情報を見ようとする人がいるなど、目的の異なる利用をされている例があり、これら目的外利用対策を考える必要がある。

時間については、15分単位の必要は無いと思う。1回30分と区切って30分ごとに更新すれば利用者にとっては使いやすいと思う。

- ・ 大学でも留学生が想定外の利用を行うことがある
- ・ パソコンは1ブース1席になるのか。また当日予約だけでなく、30台の内の5台については翌日分の予約を受付けるなど工夫できないか。

(回答) パソコンの目的外利用・閲覧対策はとっている。パソコンは1ブース1台・1席になっている。映像ブースは、1人1台では無く、8ブース中、6ブースは2人で見られるよう2人掛けにしている。

パソコンについては当日のみの予約とし、翌日以降の予約受付は現時点では予定しない。

## 5 閉 会